

平成 24 年度 第 2 回 計算科学技術部会 運営委員会 議事録

2012 年 8 月 7 日

JAEA 宮村 浩子

1. 日時 : 平成 24 年 8 月 7 日 (火) 10 時 00 分～12 時 00 分
2. 場所 : 伊藤忠テクノソリューションズ (株) セミナールーム C
3. 出席者 (順不同、敬称略) :
中島、越塚、山本、堀田、巽、西田、羽間、宮村 (議事録作成)
4. 配布資料
資料 2-1 議事次第
資料 2-2 前回議事録 (案)
資料 2-3-1 総務小委員会
資料 2-3-1(1) CCSE 報告
資料 2-3-1(2) 部会賞のあり方について
資料 2-3-1(3) 部会員参加募集
資料 2-3-1(4) HPCI への参加について
資料 2-3-1(5) 事故調査委員会
資料 2-3-1(6) 全体会議資料
資料 2-3-2 企画小委員会
資料 2-3-4 出版・編集小委員会
資料 2-3-5 経理小委員会

5. 議事内容

(1) 資料確認

総務小委員長より本日の配布資料の確認が行なわれた。

(2) 前回議事録の確認

資料 2-2 に基づき、総務小委員長より前回運営委員会の議事録の確認が行なわれ
了承された。

(3) 小委員会活動報告・秋の大会での部会全体会議における報告告知内容等

各小委員委員長より活動報告と今後の予定の報告がなされた。

総務小委員会

資料 2-3-1 に基づき、西田小委員長より説明が行なわれた。

- ・ 共催等に関して、JAEA CCSE-WS、流動ダイナミクスに関する国際会議、
WCCM2012 に関しては申請済みであり、JAEA CCSE-WS に関しての会議報告が
なされた (資料 2-3-1(1))。理論応用力学講演会、CCP2012、SNA&MC2013、
HTR2012 に関しては申請の手続きを進めることが承認された。

- ・ 秋の大会全体会議での講演者は未定である。
- ・ 秋の大会での部会全体会議の確認をした（資料 2-3-1(6)）。

企画小委員会

資料 2-3-2 に基づき、山本小委員長より説明が行なわれた。

- ・ Dr.フォーラムは、本年度熱流動部会が実施を見送ることが決定したことから、実施しないこととなった旨報告された。
- ・ 秋の原子力学会年会の企画セッションのプログラムが報告された。

9月20日（木）13:00～14:30 M会場 座長 中島 憲宏（JAEA）

- 関西大学 高橋 教授 津波評価および解析手法の現状と課題
- 電力中央研究所 松山様 原子力発電所における津波の評価方法
- 東京電力株式会社 谷様 東日本大震災の津波再現解析

広報小委員会

巽小委員長より説明が行なわれた。

- ・ 部会長挨拶を部会ホームページに掲載したことが報告された。

出版・編集小委員会

資料 2-3-4 に基づき、宮村総務委員より代読、説明が行なわれた。

- ・ 18号発刊済みであることが報告された。
- ・ 19号の目次が提示され、編集状況の報告がなされた。

経理小委員会

資料 2-3-5 に基づき、堀田小委員長より説明が行なわれた。

(4)その他

部会賞のあり方について（資料 2-3-1(2)）

部会賞の受賞候補範囲について議論がなされた。

部会員参加募集（資料 2-3-1(3)）

部会員数を増やすための試みについての議論がなされた。

HPCI への参加について（資料 2-3-1(4)）

HPCI に計算科学技術部会として参加するかどうかの議論がなされた。

事故調査委員会（資料 2-3-1(5)）

学会事故調準備委員会の報告が中島部会長よりなされた。

(5) 次回予定

12月3日（月）10:00-12:00

(6) メール審議事項

A: 部会独自のレンタルサーバ契約

部会独自でサーバをレンタルし、年間 6,000 円程度を通信費として計上する。

契約に関しては、学会が直接契約することとする（学会の確認済）。

B: ご講演者への出張費支出

秋の原子力学会でのご講演者に対しては、謝金として1万円支払う。

C: SMiRT22 への後援

D: H24 年度の支出見通し、H25 年度の支出予定を申請

メール審議事項 B 同様、H25 年度も講演者に謝金を支払う前提で支出計画を作成する。

E:代議員

奥田先生（東京大学）をお願いすることとする。

F:専門分野コード

現状通りとする。

G:2013 年春の年会企画セッション

MRI 松本様のプロジェクトを V&V、M&S という切口で企画する（講演者2名）。